

會記

日本西洋古典学会の発会式を兼ね第一回総会は、昭和二十五年十月二十二日、京都大学文学部第八教室に於て開催、午後一時開会、高田三郎氏の開会の辞につき、新村出氏、田中秀央氏の祝辞、挨拶があり、会務報告の後公開講演に移つた。講師並に演題左記の通り。

一、ギリシア散文の發達
東大助教授 高津 春 繁 氏

一、哲学の言葉としてのギリシア語
京大教授 田中 美知太郎 氏

終りに野上素一氏の閉会の辞があり、午後四時半閉会した。

参加者約八十名。東京、神戸等より遙々来会せられた会員も少からず、盛会であつた。

同日午後七時より三條河原町ちきりやにて、講師を中心に懇談会を開き、出席者十八名。午後十時散会した。

昭和二十六年二月、役員として顧問十一名、委員三十二名（うち常務委員十一名、委員長は吳茂一氏）を委嘱、承認を得た。今回の役員決定は、早急を要した爲、総会を開く余裕がなく、臨時に世話人会に於て決定した。会員諸氏の御了解を求める次第である。

第二回総会（研究発表会、公開講演会を含む）は本年十一月東京に於て開催の予定。

後記

本年は遺憾乍ら未だ機関誌発行の機運が至らなかつたので、とりあえず、会員名簿を作製するに止めた。海外の學術誌が次第に到着しつゝある今日、本学会の機関誌の刊行も出来る限り速に実現して、国内に於けるのみならず、海外の学界との交流にも役立つ様にいたしたいものである。会員諸氏の御協力を切望する次第である。

なほ名簿は出来る限り正確を期したが、なほ粗漏脱落なきを保し難いので、訂正すべき点を御発見の節は、御手数教乍ら京都大学文学部西洋古典文学研究室宛に御知らせ頂きたい。